

機械工学科における教育ポリシー

アドミッション・ポリシー 入学者受入れの方針

1. 機械工学及び機械システムに関する高度な専門知識を身に付けたいと思う意欲のある人を求める。
2. 工学部での学びと自己表現に必要な国語力を持ち、国際人として活躍するために必要な英語力、技術者に求められる倫理観や豊かな教養を身に付けようとする意欲のある人を求める。
3. 入学試験では、数学、理科に対して基礎学力を有していること、または、実験・演習系の科目に対する適応能力を重視する。
4. 次の項目のどれかに該当する学生を求める。
 - 1) ロボットやメカトロニクスに興味を持ち専門知識の修得を目指す人
 - 2) コンピュータで機械システムを設計したり、制御したりすることに興味を持ち専門知識の修得を目指す人
 - 3) 熱とエネルギーの利用に興味を持ち専門知識の修得を目指す人
 - 4) 自動車、航空機、ロボット、プラント、材料開発などに関係する仕事に従事することを望む人
 - 5) ものづくりや機械いじりが好きな人

カリキュラム・ポリシー 教育課程編成・実施の方針

1. 確かな基礎教育の後に専門性の高い卒業研究にしっかりと取り組めるよう、4年次への進級条件を設け、かつ、豊かな表現力、高度な技術力、技術者倫理を身に付け、社会の発展に有用な機械制御システムを開発できる応用力・創造力を有する人材を育成する教育課程を実践する。
2. 基礎から応用までの幅広い知識を身に付けた機械工学の専門家を育成するため、基礎科目(基幹基礎、専門基礎)、専門科目、一般科目(外国語、人間科学)、及び自由科目を適切に配置する。
3. 機械工学科では、自然科学・コンピュータ技術を基礎として機械力学、材料力学、流体力学、熱力学、制御工学を専門とする基礎教育を重点的に行い、さらにコミュニケーション能力、自己管理能力、デザイン能力、実践力の向上を図るために実験と実習の時間を豊富に設ける。

ディプロマ・ポリシー 学位授与の方針

1. 人間性豊かな機械技術者に求められる「確かな基礎学力」、「高度な専門知識」、「豊かな表現力」、「技術者としての倫理観」を身に付け、社会の発展に有用な機械制御システムの開発に貢献できる能力を有する。
2. 機械工学の学問分野における幅広い基礎的知識をもとに、機械工学の諸問題を考察し、その解決に貢献できる能力を有する。
3. 機械力学、材料力学、流体力学、熱力学、制御工学など、機械工学の基礎に関わる分野における十分な知識を礎としたエンジニアリングデザインを実践できる素養を身に付けている。
4. 技術者の立場から技術が社会や自然に及ぼす効果と影響について、また技術が社会に対して負うべき責任について理解し、客観的に考え、適切に説明できる素養を身に付けている。